

「さっき一緒に風呂入ったのに…チ、チンカスが溜まっていますね……え？ わたしに舐めとって欲しいから、洗わなかったのですか？」

むわん

ビョ

ん

「あ、あのっ！ 精一杯おしゃぶりして、綺麗にいただきます……！」
（この匂い大好き……嬉しい♡ あっ、乳首がはしたなく勃起してるの、バれてしまいます……♡ 乱暴にいじって下さらないかしら……♡）」

「んっ、んぶ……い、いかがですふあ？ 気持ちいですふあ？」
「んんっ♡ 生臭くて、濃い味♡ 癖になっちやいます…♡」

ぽ
ぽ
ぽ

ぽ
ぽ
ぽ

ぽ
ぽ

「あっ、下品なおしやぶり顔を見られてしまってます…♡ 恥ずかしい…♡
興奮して母乳も出てきてしまいました♡ わたしが気持ちよくして差し上げないのに…♡」

「あ…、ビクビクしてますね…
もう射精してしまえますか？」
（ああ♡ もうすぐ臭いチンポ汁、
ビュルビュル射精されるのですね…♡）



（キンタマで熟成されたお汁全部、
わたしのお口に吐き出してください♡
しっかりお口で味わって、
残らず飲み干して差し上げますから♡）

「んんっ！ どう、ぞ…全部、絞り出して……！」
（ああっ♡ きたきた、くっさい濃厚新鮮ドロドロチンポ汁♡）

ド
ビュ

プンッ

（生臭さが鼻に抜けて、クラクラしてしまいます♡ ああ、幸せえ……♡
それにしてもっ、量が、すご、い……♡）



「ぶはっ…、ありがとうございます♡濃厚で、とても美味しいです…♡」
（あん♡ まだチンポにこびりついてる♡ しゃぶって綺麗にしなきゃ♡）

む
あ
あ

ホカ♡

ホカ♡

「こんなに生臭くてプリプリのチンポ汁を頂けて、本当に嬉しいです♡
お返しに、わたしの母乳を飲ませて差し上げますね♡」











